

承スヘキモノハ當然之ヲ繼承シ且誠意ヲ以テ之ヲ履行スヘシ。
四、外國人ノ滿洲國領域内ニ於テ有スル既得ノ權利ヲ侵害スルコトナキハ勿論其ノ生命財產ヲ完全ニ保護スヘシ。

五、外國人ノ滿洲國ニ來住セントスル者ハ均シク之ヲ歡迎シ各民族ニハ平等公正ナル待遇ヲ與フヘシ。

六、列國トノ通商貿易ハ務メテ平易融洽ナラシメ以テ世界經濟ノ發展ニ貢獻スヘシ。

七、諸外國人ノ滿洲國ニ於ケル經濟活動ニ對シ門戸開放主義ヲ遵守スヘシ。
貴國政府カ以上ノ趣旨ヲ十分ニ諒解セラルルト共ニ滿洲國トノ間ニ正式外交關係ヲ設定セラレンコトヲ切ニ希望致候。敬具

大同元年三月十日

滿洲國外交總長 謝介石

、、國務大臣、、閣下
(註) 右通譯ハ日、英、米、佛、獨、蘇、澳、白、丁、抹、エストニア、伊、ラトビア、リツアニア、蘭、波蘭、葡萄牙、チエッコスロバキアノ十七國ニ送付セラレタリ

第二、滿洲國ノ基礎的諸法令

一、政府組織法

第一章 執政

- 第一條 執政ハ滿洲國ヲ統治ス
- 第二條 執政ハ滿洲國ヲ代表ス
- 第三條 執政ハ全人民ニ對シ責任ヲ負フ
- 第四條 執政ハ全人民之ヲ推舉ス
- 第五條 執政ハ立法院ノ翼贊ニ依リ立法權ヲ行フ
- 第六條 執政ハ國務院ヲ統督シ行政權ヲ行フ
- 第七條 執政ハ法律ニ依リ法院ヲシテ司法權ヲ行ハシム
- 第八條 執政ハ公共ノ安寧福利ヲ維持増進シ又ハ法律ヲ執行スルタメ命令ヲ發シ又ハ發セシム但シ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルヲ得ス
- 第九條 執政ハ公安ヲ維持シ又ハ非常ノ災害ヲ防遏スル爲立法院ヲ召集スルコトヲ得サルトキハ參議府ノ同意ヲ得テ法律ト同一ノ效力アル緊急敕令ヲ發スルコトヲ得

但シ此ノ教令ハ次ノ會期ニ於テ立法院ニ報告スヘシ
第十條 執政ハ官制ヲ定メ官吏ヲ任免シ及其ノ俸給ヲ定ム但シ本法其ノ他ノ法律ニヨリ特ニ定メ
ラレタルモノハ此ノ限リニ非ス

第十一條 執政ハ宣戰媾和及條約締結ノ權ヲ有ス

第十二條 執政ハ陸海空軍ヲ統率ス

第十三條 執政ハ大赦、特赦、減刑及復權ヲ命ス

第二章 參議府

第十四條 參議府ハ參議ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條 參議府ハ左ノ事項ニツキ執政ノ諮詢ヲ待ツテ其ノ意見ヲ提出ス

一 法律

二 教令

三 豫算

四 列國交渉ノ條約、約束並執政ノ名ニ於テ行フ對外宣言

五 重要ナル官吏ノ任免

六 其ノ他ノ重要ナル國務

第十六條 參議府ハ重要ナル國務ニ關シ執政ニ意見ヲ提出スルコトヲ得

第三章 立法院

第十七條 立法院ノ組織ハ別ニ法律ノ定ムル所ニヨル

第十八條 總テ法律案及豫算案ハ立法院ノ翼贊ヲ經ルコトヲ要ス

第十九條 立法院ハ國務ニ關シ國務院ニ建議スルコトヲ得

第二十條 立法院ハ人民ノ請願ヲ受理スルコトヲ得

第二十一條 立法院ハ執政毎年之ヲ召集ス

常會ノ會期ハ一ヶ月トス但シ必要アル場合執政ハ之ヲ延長スルコトヲ得

第二十二條 立法院ハ總議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十三條 立法院ノ議事ハ出席議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナル時ハ議長ノ決スル所
ニ依ル

第二十四條 立法院ノ會議ハ之ヲ公開ス、但シ國務院ノ要求又ハ立法院ノ決議ニ依リ秘密會議ト
スルコトヲ得

第二十五條 立法院ノ議決セル法律案及豫算案ハ執政之ヲ裁可シ公布施行セシム
立法院法律案又ハ豫算案ヲ否決セルトキハ執政ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ附シ尙改メサルトキハ參議府ニ諮リテ其ノ可否ヲ採決ス

第二十六條 立法院議員ハ院內ニ於ケル言論及表決ニ關シ院外ニ於テ責任ヲ負フコトナシ

第四章 國務院

第二十七條 國務院ハ執政ノ命ヲ承ケ諸般ノ行政ヲ掌理ス

第二十八條 國務院ニ民政、外交、軍政、財務、實業、交通、司法ノ各部ヲ置ク

第二十九條 國務院ニ國務總理及各部總長ヲ置ク

第三十條 國務院總理及各部總長ハ何時タリトモ立法院會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得、但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十一條 法律、教令及國務ニ關スル教書ハ國務總理之ニ副書ス

第五章 法院

第三十二條 法院ハ法律ニ依リ民事、刑事及訴狀ヲ審判ス、但シ行政訴訟其ノ他特別訴訟ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第三十三條 法官ノ資格ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 法官ハ獨立シテ其ノ職務ヲ行フ

第三十五條 法官ハ刑事又ハ懲戒裁判ニ由ルノ外其ノ職ヲ免セラルルコトナシ、又其ノ意ニ反シテ停職、轉官、轉署、減俸セラルルコトナシ

第三十六條 法院ノ對審判決ハ之ヲ公開ス、但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スル恐レアルトキハ法律ニ依リ法院ノ決議ヲ以テ公開ヲ停止スルコトヲ得

第六章 監察院

第三十七條 監察院ハ監察及審計ヲ行フ、監察院ノ組織及職務ニ關シテハ法律ヲ以テコレヲ定ム

第三十八條 監察院ニ監察官及審計官ヲ置ク

第三十九條 監察官及審計官ハ刑事裁判若ハ懲戒處分ニ由ルニ非サレハ其ノ職ヲ免セラレルコトナシ又其ノ意ニ反シテ停職、轉官、減俸セラルルコトナシ

附 則

第四十條 本法ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

二、人權保障法

全人民ノ信任ニ依リ滿洲國統治ヲ行フ執政ハ戰時若ハ非常事變ノ際ヲ除クノ外左記各項ニ準據

シテ茲ニ人民ノ自由及權利ヲ保障シ並ニ其ノ義務ヲ定ムヘキコトヲ全人民ニ對シテ誓約ス

第一條 滿洲國人民ハ身體ノ自由ヲ侵害セラルルコトナシ、公ノ權力ニ依ル制限ハ法律ノ定ムル所ニヨル

第二條 滿洲國人民ハ財産權ヲ侵害セラルルコトナシ、公益上必要ニ依ル制限ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

第三條 滿洲國人民ハ種族宗教ノ如何ヲ問ハス總テ國家ノ平等ナル保護ヲ享ク

第四條 滿洲國人民ハ法律ノ定ムル所ニ依リ國又ハ地方團體ノ公務ニ參與スルノ權利ヲ有ス

第五條 滿洲國人民ハ法令ノ定ムル所ニ依リ均シク官吏ニ任セララルル權利ヲ有シ其ノ他ノ名譽職ニ就任スルノ義務ヲ負フ

第六條 滿洲國人民ハ法令ノ定ムル手續ニ從ヒ請願ヲナスコトヲ得

第七條 滿洲國人民ハ法律ニ定メタル法官ノ裁判ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第八條 滿洲國人民ハ行政官署ノ違法處分ニ依リ權利ヲ侵害セラレタル場合ニ於テハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ救済ヲ請求スルコトヲ得

第九條 滿洲國人民ハ法令ニ依ルニ非サレハ如何ナル名義ニ於テモ課税、懲發、罰金ヲ命セララル

ルコトナシ

第十條 滿洲國人民ハ公益ニ反セサル限り共同ノ組織ニ依リ其ノ經濟上ノ利益ヲ保護増進スルコトヲ得

第十一條 滿洲國人民ハ高利、暴利其ノ他一切ノ不當ナル經濟的壓迫ヨリ保護セララル

第十二條 滿洲國人民ハ均シク國又ハ地方團體ノ公費ニ依ル各種ノ施設ヲ享有スル權利ヲ有ス

第十三條 本法ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

三、參議府官制

第一條 參議府ハ參議若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 參議府ニ議長及副議長各一人ヲ置キ參議中ヨリ執政之ヲ命ス

議長ハ參議府ノ事務ヲ統治シ參議府ヨリ發スル公文書ニ署名ス副議長ハ議長ヲ輔佐シ議長故障アルトキハ此ノ職務ヲ行フ

議長副議長共ニ故障アルトキハ參議ノ一人命ヲ承ケ議長ノ職務ヲ代理ス

第三條 參議府ノ意見ハ參議府會議ノ決議ニ依リ之ヲ決ス

第四條 參議府會議ハ參議過半数出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第五條 參議府會議ノ議事ハ出席參議ノ多數決ニ依リ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
第六條 議長ハ會議ニ關シ必要アル場合ニハ國務總理、各部總長及監察院長又ハ其ノ代理者ヲ其
ノ會議ニ出席セシメ意見ヲ陳ヘシムルコトヲ得

第七條 議長ハ必要ニヨリ參議中ヨリ審査委員ヲ任命シ特別ノ事項ニ關シテ審査セシムルコトヲ得

第八條 參議府ニ秘書局ヲ設ケ左ノ職員ヲ置ク

局長 (簡任)

秘書官 (簡任若ハ薦任)

屬官 (委任)

第九條 局長ハ議長ノ命ヲ承ケ常務ヲ管理ス、秘書官ハ局長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル、屬官ハ上官
ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第十條 議長ハ秘書局長、秘書官ノ進退及賞罰ニツキ國務總理ヲ經テ執政ニ奏薦シ委任官以下ハ
之ヲ專行ス

第十一條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

參議府會議規程

第一章 準 備

第一條 參議府議長諮詢案件ヲ受ケタルトキハ秘書局長ニ命シテ之ヲ審査セシム

議長ハ必要ト認ムルトキハ秘書局長ニ命シテ審査報告書ヲ作成セシムヘシ

第二條 秘書局長ハ諮詢案件ヲ參議府會議ニ附議スルニ必要ナル一切ノ審査及準備ヲ整フヘシ
前項審査及準備ノ爲必要アルトキハ秘書局長ハ國務總理其ノ他關係各院及部局ニ對シ資料又ハ
説明書ノ提出ヲ要求スルコトヲ得

第二章 召 集

第三條 參議府會議ハ議長之ヲ召集ス

召集ハ會議期日二日前迄ニ各參議ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 議案ハ召集通知ト共ニ之ヲ送達スルコトヲ要ス但シ議長ニ於テ必要ナシト認メタルトキ
及緊急ノ場合ハ此ノ限リニ在ラス

第三章 構 成

第五條 參議府會議ニハ參議府官制第六條及本規程ニ定ムルモノノ外入場ヲ許サス

第六條 議長ハ必要ト認メタルトキハ參議府會議ニ執政ノ臨席ヲ呈請スヘシ

第七條 秘書局長ハ議事録作成其ノ他ノ事務ヲ助ケシムル爲秘書官ヲシテ會議ニ列セシムルコトヲ得

一八

第四章 議事

第八條 會議ハ議長ニ於テ開會ヲ宣シ議長若ハ其ノ命ニ依リ秘書局長ニ於テ議案ヲ説明シ且審議ヲ得

上參考トナルヘキ事項ヲ報告スヘシ

豫メ審査報告書ヲ配布シタル場合ニ於テハ前項説明及報告ヲ省略スルコトヲ得

第九條 議長ハ各參議ヲシテ議案ニ付意見ノ開陳ヲ盡サシムヘシ但シ參議ハ議長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ發言スルコトヲ得ス議長ハ故ナクシテ參議及政府員ノ發言ヲ禁止若ハ發言ノ要求ニ對シ拒否スルコトヲ得ス

第十條 議長審査委員ヲ任命シタルトキハ審査期間ヲ限定スルコトヲ得

審査委員ハ審査報告書ヲ作成シ議長ニ提出スヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ口頭ヲ以テ報告スルコトヲ得審査委員ヨリ報告書ヲ提出アリタルトキハ議長ハ秘書局長ヲシテ其ノ會議ヲ開ク日ノ二日前迄ニ之ヲ各參議ニ送達セシムヘシ

第十一條 議長ハ討議既ニ盡キタリト認ムルトキハ裁決案ヲ定メ表決ニ附スヘシ但直ニ表決ニ附

スルコト不適當ト認ムル時ハ之ヲ延期スルコトヲ得

第十二條 議長ハ會議ノ意見決定シタルトキハ直ニ其ノ要旨ヲ議場ニ對シテ聲明スヘシ

第十三條 議長ハ其職務執行中ト雖モ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得

第十四條 豫定ノ期間内ニ議事終了セサル時ハ議長ハ會期ヲ延長シ若ハ之ヲ他日ニ延期スルコトヲ得

第十五條 參議ハ單獨ヲ以テ政府組織法第十六條ニ基ク意見ヲ議長ニ提出シ參議府會議ニ附議セシムルコトヲ要求スルヲ得

第十六條 前條ノ場合ニ於テ議長ハ本規則ノ手續ニ準シ之ヲ處理スヘシ

第五章 整理

第十七條 參議府ノ意見ハ裁決ノ結果ニ基キ秘書局長之ヲ起草シ議長ノ檢閲ヲ經タル上執政ニ提出シ且其ノ寫ヲ國務總理ニ送付スヘシ

第十八條 會議ノ議事ハ其ノ要領ヲ筆記シ議長及秘書局長之ニ署名スヘシ
議事録ハ秘書局長ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第六章 雜則

一九

第十九條 參議府會議ノ議事ハ議長ノ命ニ依リ秘書局長ニ於テ之ヲ發表スルモノノ外一切公表スルコトヲ得ス

第二十條 秘書局長事故アルトキハ前任秘書官其ノ職務ヲ代理ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大同元年四月十五日公布）

四、國務院官制

第一條 國務總理ハ執政ノ命ヲ承ケ各部總長ヲ指揮監督シ、國家行政ノ機務ヲ處理シ其ノ責ニ任ス、國務總理故障アル時ハ總長ノ一人命ヲ承ケ其ノ事務ヲ代理ス

第二條 國務總理ハ其ノ職權又ハ特別ノ委任ニヨリ任免ヲ發スルコトヲ得

第三條 國務總理ハ必要ト認ムルトキハ各部總長ノ命令又ハ處分ヲ停止シ若ハ取消スコトヲ得

第四條 國務總理ハ部下官吏ヲ監督シ其ノ任免進退及賞罰ニ付執政ニ奏請シ、委任官以下ハ之ヲ專行ス

第五條 行政事務ノ連絡統一ヲ圖リ以テ全局ノ平衡ヲ維持スル爲國務院會議ヲ設ク、國務院會議ハ國務總理之ヲ主宰シ各部總長、總務長官、法制局長、公安局總長、資政局長或ハ其ノ代理者

ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條 左ノ各件ハ國務院會議ヲ經ルコトヲ要ス

一 法律、敕令、軍令及豫算

二 外國條約及重要涉外案件

三 各部間ノ主管權限ノ爭議

四 豫算外ノ支出

五 其ノ他重要ナル國務

第七條 國務院各部總長ハ國務總理ノ命ヲ承ケ其ノ主管事務ヲ處理ス、各部ノ官制ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 國務總理ハ部内ノ機密、人事、主計及需要ニ關スル事項ヲ直宰シ總務廳ヲ置キ之ヲ處理セシム

第九條 總務廳ニ左ノ職員ヲ置ク

總務長官（特任）

秘書官（簡任若ハ薦任）

理事官（簡任）

技 師(簡任若ハ薦任)
事務官(薦任)
屬 官(委任)

總務廳ニ次長(簡任)一人ヲ置クコトヲ得

第十條 總務長官ハ國務總理ノ命ヲ受ケ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ廳務ヲ處理ス

第十一條 次長ハ總務長官ヲ輔佐シ總務長官故障アルトキハ其ノ職務ヲ代行ス

秘書官ハ機密事項及特ニ命セラレタル事項ヲ掌ル

理事官及技正ハ總務長官ノ命ヲ受ケ所管ノ事務及技術ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第十二條 總務廳ニ左ノ四處ヲ設ク

處ニ處長ヲ置キ理事官ヲ以テ之ニ充ツ

秘書處

人事處

主計處

需要處

第十三條 秘書處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

一 機密ニ屬スル事項

二 法律、教令、軍令、教書及院令ノ公布ニ關スル事項

三 官印ノ保管ニ關スル事項

四 公文書收發ニ關スル事項

五 刊行物ノ發行ニ關スル事項

六 會計及庶務ニ關スル事項

第十四條 人事處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

一 官吏ノ任免、進退及身分ニ關スル事項

二 官吏ノ紀律及賞罰ニ關スル事項

三 官吏ノ給與及待遇ニ關スル事項

四 議員選任ニ關スル事項

第十五條 主計處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 總括豫算及總括決算ニ關スル事項
- 二 特別會計ノ豫算及決算ニ關スル事項
- 三 國資ノ計畫及運用ニ關スル事項
- 四 國庫金ノ收支管理ニ關スル事項
- 五 收支ノ科目ニ關スル事項

第十六條 需要處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 營繕ニ關スル事項
- 二 用度ニ關スル事項

第十七條 各處ノ分課規程ハ總務長官之ヲ定ム

第十八條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

五、國務院各部官制

第一章 通 則

第一條 國務院各部總長ハ國務總理ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ主管事務ヲ掌理ス、主管ノ明瞭ナラザ

事務若ハ二部以上ニ關涉スル事項ハ國務院會議ニ提出シ其ノ主管ヲ定ム

第二條 國務院各部總長ハ其ノ主管事務ニ付法律、敕令、軍令及院令ノ制定、廢止及改正ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ案ヲ具備シ國務總理ニ提出スヘシ

第三條 國務院各部總長ハ其ノ主管事務ニ付國務院會議ヲ要求スルコトヲ得

第四條 國務院各部總長ハ其ノ主管事務ニ付職權又ハ特別ノ委任ニ依リ部令ヲ發スルコトヲ得

第五條 國務院各部總長ハ其ノ主管事務ニ付各省長（興安各分省長ヲ除ク）首都警察廳長ニ指令又ハ訓令ヲ發スルコトヲ得

第六條 國務院各部總長ハ其ノ主管事務ニ付各省長（興安各分省長ヲ除ク）首都警察廳長ヲ指揮監督シ其ノ處分又ハ命令ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ之ヲ停止又ハ取消スコトヲ得、但シ重要ナル事項ハ國務總理ノ指揮ヲ承クルコトヲ要ス

第七條 國務院各部總長ハ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シテハ國務總理ヲ經テ執政ニ奏薦スルコトヲ要シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第八條 國務院各部ニ次長（簡任）一人ヲ置クコトヲ得、次長ハ總長ヲ輔佐シ總長事故アルトキハ其ノ職務ヲ行フ

第九條 國務院各部ニ司ヲ置ク、司ニ司長ヲ置キ、理事官又ハ技正ヲ以テ之ニ充ツ各司ノ分課規程ハ總長之ヲ定ム

第二章 民政部

第十條 民政部總長ハ地方行政、警察、土木、衛生及文教ニ關スル事項ヲ掌理シ省長（興安各分省長ヲ除ク）首都警察廳長ヲ監督ス

第十一條 民政部ニ左ノ六司ヲ置ク總務司、地方司、警務司、土木司、衛生司、文教司

第十二條 總務司ニ於テハ左ノ事務ヲ管掌ス

- 一 機密ニ屬スル事項
 - 二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項
 - 三 人事ニ關スル事項
 - 四 會計及庶務ニ關スル事項
- 第十三條 地方司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 地方行政ニ關スル事項
 - 二 自治行政ニ關スル事項

三 公共組合ニ關スル事項

第十四條 警務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 治安警察ニ關スル事項

二 行政警察ニ關スル事項

第十五條 土木司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 部直轄ノ土木工事ノ施行ニ關スル事項
- 二 地方及公共、土木工事ノ監督及補助ニ關スル事項
- 三 土地收用ニ關スル事項

第十六條 衛生司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 防疫、種痘及公衆衛生ニ關スル事項
- 二 保健及醫政ニ關スル事項

第十七條 文教司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 教育ニ關スル事項
- 二 學藝ニ關スル事項

三 宗教ニ關スル事項
四 禮俗ニ關スル事項

第十八條 民政部ニ左ノ職員ヲ置ク

秘書官 (簡任若ハ薦任)

理事官 (簡任)

督學官 (薦任)

技 正 (簡任若ハ薦任)

事務官 (薦任)

屬 官 (委任)

第十九條 秘書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密ノ事項及特ニ命セラレタル事務ヲ掌ル

理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

督學官ハ總長ノ命ヲ承ケ學校教育ノ監督ニ關スル事務ヲ掌ル

技正ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第三章 外 交 部

第二十條 外交部總長ハ在外使節及領事ヲ指揮監督シ國際交渉、通商及在外人民保護ニ關スル事

務ヲ掌理ス

第二十一條 外交部ニ左ノ三司ヲ置ク

總 務 司

通 商 司

政 務 司

第二十二條 總務司ニ於テ左ノ事項ヲ管掌ス

一 機密ニ屬スル事項

二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項

三 人事ニ關スル事項

四 會計及庶務ニ關スル事項

第二十三條 通商司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 通商ニ關スル事項
- 二 外國經濟事情ノ調査ニ關スル事項
- 三 在外人民ノ保護ニ關スル事項
- 四 領事ニ關スル事項

第二十四條 政務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 條約ニ關スル事項
- 二 國際會議ニ關スル事項
- 三 情報ニ關スル事項
- 四 在外使節ニ關スル事項

第二十五條 外交部ニ左ノ職員ヲ置ク

- 秘書官 (簡任若ハ薦任)
- 理事官 (簡任)
- 翻譯官 (薦任)
- 事務官 (薦任)

屬官 (委任)

第二十六條 秘書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密ノ事項及特ニ命セラレタル事務ヲ掌ル

理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

翻譯官ハ上官ノ命ヲ承ケ翻譯ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第四章 軍政部

第二十七條 軍政部總長ハ軍政ヲ管理シ用兵ニ關スル事項ヲ掌理ス

第二十八條 軍政部ニ左ノ二司ヲ置ク

參謀司

軍需司

第二十九條 參謀司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 總務ニ關スル事項
- 二 用兵ニ關スル事項

- 三 軍ノ訓練ニ關スル事項
 - 四 軍ノ編成及徵募ニ關スル事項
 - 五 醫務ニ關スル事項
 - 六 法務ニ關スル事項
 - 第三十條 軍需司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 兵器ニ關スル事項
 - 二 軍需品ニ關スル事項
 - 第三十一條 軍政部ニ置クヘキ職員ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム
- 第五章 財 政 部
- 第三十二條 財政部總長ハ稅務、專賣、貨幣、金融統制及國有財産ニ關スル事項ヲ掌理ス
 - 第三十三條 財政部ニ左ノ三司ヲ置ク
 - 總 務 司
 - 稅 務 司
 - 理 財 司

- 第三十四條 總務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 機密ニ屬スル事項
 - 二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項
 - 三 人事ニ關スル事項
 - 四 會計及庶務ニ關スル事項
- 第三十五條 稅務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 國稅ノ賦課徵收ニ關スル事項
 - 二 稅務行政ニ關スル事項
 - 三 關稅ノ賦課徵收ニ關スル事項
 - 四 關稅行政ニ關スル事項
- 第三十六條 理財司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 貨幣ニ關スル事項
 - 二 金融統制ニ關スル事項
 - 三 金融機關ノ監督ニ關スル事項

四 國有財産ノ管理ニ關スル事項

第三十七條 財政部ニ左ノ職員ヲ置ク

秘書官 (簡任若ハ薦任)

理事官 (簡任)

技 正 (簡任若ハ薦任)

事務官 (薦任)

屬 官 (委任)

第三十八條 秘書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密ノ事項及特ニ命セラレタル事項ヲ掌ル

理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

技正ハ總長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第三十九條 實業部總長ハ農業、林業、畜産業、礦業、商工業其ノ他一般實業ニ關スル事項ヲ處理ス

第六章 實 業 部

第四十條 實業部ニ左ノ三司ヲ置ク

總 務 司

農 礦 司

工 商 司

第四十一條 總務司ニ於テ左ノ事項ヲ管掌ス

一 機密ニ屬スル事項

二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項

三 人事ニ關スル事項

四 會計及庶務ニ關スル事項

第四十二條 農礦司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

一 農業及副業ニ關スル事項

二 林業及造林ニ關スル事項

三 畜産ニ關スル事項

四 水産ニ關スル事項

五 礦山及地質ニ關スル事項
 第四十三條 工商司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 一 商事及貿易ニ關スル事項
 二 工業ニ關スル事項
 三 度量衡ニ關スル事項
 第四十四條 實業部ニ左ノ職員ヲ置ク
 祕書官 (簡任若ハ薦任)
 理事官 (簡任)
 技 正 (簡任若ハ薦任)
 事務官 (薦任)
 屬 官 (委任)
 第四十五條 祕書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密ノ事務及特ニ命セラレタル事務ヲ掌ル
 理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 技正ハ總長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第七章 交 通 部

第四十六條 交通部總長ハ鐵道、郵便、電信、電話、航空及水運其ノ他一般交通ニ關スル事項ヲ處理ス
 第四十七條 交通部ニ左ノ四司ヲ置ク

- 總 務 司
- 鐵 道 司
- 郵 務 司
- 水 運 司

第四十八條 總務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 機密ニ屬スル事項
- 二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項
- 三 人事ニ關スル事項
- 四 航空ノ取締ニ關スル事項

- 五 會計及庶務ニ關スル事項
- 第四十九條 鐵道司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 鐵道及其ノ附帶業務ノ管理ニ關スル事項
 - 二 陸運ノ監督ニ關スル事項
- 第五十條 郵務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 郵便ニ關スル事項
 - 二 電信及電話ニ關スル事項
- 第五十一條 水運司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
 - 一 水運ニ關スル事項
 - 二 航路標識ニ關スル事項
 - 三 船舶及船員ノ監督ニ關スル事項
- 第五十二條 交通部ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 秘書官 (簡任若ハ薦任)
 - 理事官 (簡任)

- 技 正 (簡任若ハ薦任)
 - 事務官 (薦任)
 - 屬 官 (委任)
 - 第五十三條 秘書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密ノ事務及特ニ命セラレタル事務ヲ掌ル
 - 理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 - 技正ハ總長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
 - 事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 - 屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス
- 第八章 司 法 部
- 第五十四條 司法部總長ハ法院及檢察廳ヲ監督シ民事、刑事、非訟事件及其ノ他司法行政ニ關スル事項ヲ處理ス
 - 第五十五條 司法部ニ左ノ三司ヲ置ク
 - 總 務 司
 - 法 務 司

行刑司

第五十六條 總務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 機密ニ屬スル事項
- 二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項
- 三 人事ニ關スル事項
- 四 會計及庶務ニ關スル事項

第五十七條 法務司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 法院ノ設置廢止及管轄區域ニ關スル事項
 - 二 民事、刑事、非訟事件及裁判事務ニ關スル事項
 - 三 檢察事務ニ關スル事項
 - 四 戶籍登記、供託、調停及公證ニ關スル事項
- 第五十八條 行刑司ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 刑ノ執行ニ關スル事項
 - 二 監獄ニ關スル事項

三 少年ノ矯正及免因保護ニ關スル事項

四 恩赦ニ關スル事項

第五十九條 司法部ニ左ノ職員ヲ置ク

祕書官 (簡任若ハ薦任)

理事官 (簡任)

事務官 (薦任)

屬官 (委任)

第六十條 祕書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密ノ事務及時ニ命セラレタル事務ヲ掌ル

理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第六十一條 本官制ハ大同三年三月九日ヨリ施行ス

六、監察院法

第一條 監察院ハ執政ニ直隸シ、國務院ニ對シ獨立ノ地位ヲ有ス

第二條 監察院ニ左ノ職員ヲ置ク

院長 (特任)

監察官 (簡任若ハ薦任)

審計官 (簡任若ハ薦任)

秘書官 (簡任若ハ薦任)

事務官 (薦任)

屬官 (委任)

第三條 院長ハ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ院務ヲ總理ス、院長事故アルトキハ部長ノ一人命ヲ承ケ

其ノ職務ヲ代理ス

第四條 院長ハ薦任官以上ノ進退及賞罰ニ關シテハ國務總理ヲ經テ執政ニ奏薦シ、委任官以下ハ之ヲ專行ス

第五條 監察官ハ院長ノ命ヲ承ケ監察ヲ掌ル

審計官ハ院長ノ命ヲ承ケ審計ヲ掌ル

秘書官ハ院長ノ命ヲ承ケ機密事項及特ニ命セラレタル事項ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第六條 監察院ニ總務處及左ノ二部ヲ置ク

監察部

審計部

第七條 總務處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

一 機密ニ關スル事項

二 官印ノ保管ニ關スル事項

三 人事ニ關スル事項

四 文書及統計ニ關スル事項

五 會計及庶務ニ關スル事項

第八條 總務處ニ處長ヲ置ク、秘書官ヲ以テ之ニ充ツ、處長ハ院長ノ命ヲ承ケ部下ノ官吏ヲ指揮

監督シ所管ノ事務ヲ管理ス

第九條 監察部ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス但シ審計部ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク

- 一 各官廳ノ違法若クハ不當ノ處分ニ關スル監察
 - 二 官吏ノ非違ニ對スル監察
- 第十條 監察部ニ部長ヲ置キ、監察官ヲ以テ之ニ充ツ
部長ハ院長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス
- 第十一條 審計部ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 各官廳ノ豫算執行ノ監督
 - 二 各官廳ノ收支及決算ノ検査
 - 三 各官廳ノ金銭、有價證券及物品ノ検査
 - 四 各官廳ノ爲銀行ノ取扱ヲ現金及有價證券ノ出納ニ關スル検査
 - 五 法令ニ依リ特ニ定メラレタル公私團體ノ會計検査
 - 六 官吏ノ會計上ノ非違ニ對スル監察
- 第十二條 審計部ニ部長ヲ置ク、審計官ヲ以テ之ニ充ツ
部長ハ院長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス
- 第十三條 監察報告書及審計報告書ハ部會議ニ於テ之ヲ確定シ監察院長ヨリ執政ニ提出ス

- 第十四條 監察若クハ審計ノ結果ニ依リ行政官廳ノ違法若クハ不當ノ處分ニシテ改正ヲ要スルモノ
ト認メラレタルトキハ監察院長ハ各部會議ノ決議ニ依リ國務總理ニ對シ意見書ヲ送附シ及其ノ
處置ニ付國務總理ノ報告ヲ求ムルコトヲ得
- 第十五條 審計ノ結果ニ依リ當該官吏ニシテ賠償ノ責アリト認メタルトキハ監察院長ハ審計部會
議ノ決議ニ依リ其ノ責ヲ判定シ國務總理ニ移牒シテ之ヲ執行セシム
- 第十六條 監察若クハ審計ノ結果ニ依リ官吏ノ懲戒ヲ要スル者アリト認メラレタルトキハ監察院
長ハ各部會議ノ決議ニ依リ官吏懲戒委員會ニ對シ懲戒ヲ要求スルコトヲ得
- 第十七條 監察院長ハ隨時審計及監察ノ成績ニ基キ執政ニ意見ヲ上申シ法律若クハ行政上ノ改正ヲ
必要トスヘキ事項アリト認メタルトキハ併セテ上申スルコトヲ得
- 第十八條 監察院ノ職務執行ニ關スル細則ハ敕令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十九條 本法ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス
- 七、法制局官制**
- 第一條 法制局ハ國務院ニ隸屬シ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 法律案、敕令案、軍令案及院令案ノ起草及審査

二 條約批准案ノ審査
三 法律、教令、軍令、教書及院令ノ原本ノ保管
四 各國法律制度ノ調査及研究

第二條 法制局ニ左ノ職員ヲ置ク
局長(簡任)

參事官(簡任若ハ薦任)

事務官(薦任)

屬官(委任)

第三條 局長ハ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ局務ヲ總理ス

第四條 局長ハ薦任官以上ノ進退及賞罰ニ付國務總理ニ上申シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第五條 局長事故アルトキハ參事官ノ一人命ヲ承ケテ其ノ職務ヲ代理ス

第六條 參事官ハ局長ノ命ヲ承ケ審議、立案及調査ヲ掌ル

事務官ハ局長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第七條 法制局ニ部ヲ設クルコトヲ得、部ノ事務分掌ハ局長之ヲ定ム
第八條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

統計處官制

第一條 法制局ニ統計處ヲ附設ス

第二條 統計處ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 各官署ノ統計報告及統計材料ノ蒐集及審査

二 國勢ノ基本ニ關スル統計

三 内外統計ノ研究

四 統計ノ編纂

第三條 統計處ニ左ノ職員ヲ置ク

處長(簡任)

統計官(簡任若ハ薦任)

事務官(薦任)

屬官(委任)

第四條 處長ハ法制局長ノ監督ヲ承ケ省務ヲ掌理ス

第五條 統計官ハ處長ノ命ヲ承ケ統計ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第六條 統計處ニ科ヲ設クルコトヲ得、科ノ事務分掌ハ處長之ヲ定ム

第七條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

八、資政局官制

第一條 資政局ハ國務院ニ隸屬シ各部施設ノ暢達ヲ資クル所トス

第二條 資政局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長(簡任)

理事官(簡任若ハ薦任)

事務官(薦任)

屬官(委任)

第三條 局長ハ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ局務ヲ總理ス

第四條 局長ハ薦任官以上ノ進退及賞罰ニ付國務總理ニ上申シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第五條 局長事故アルトキハ理事官ノ一人命ヲ承ケ其ノ職務ヲ代理ス

第六條 理事官及事務官ハ局長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第七條 資政局ニ左ノ各處ヲ置ク

總務處

弘法處

第八條 處ニ處長ヲ置キ理事官ヲ以テ之ニ充ツ、處長ハ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ所管事務ヲ掌理ス

第九條 總務處ニ於テハ左ノ事務ヲ管掌ス

一 機密ニ屬スル事項

二 官印及文書ニ關スル事項

三 人事ニ關スル事項

四 會計及庶務ニ關スル事項

第十條 弘法處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 建國竝ニ施設ノ精神ノ宣傳ニ關スル事項
- 二 民力涵養及民心善導ニ關スル事項
- 三 自治思想ノ普及ニ關スル事項

第十一條 查政局ニ研究所及訓練所ヲ設ケ研究所及訓練所ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

九、興安局官制

第一條 興安局ハ國務院ニ隸屬シ興安省ノ一般行政ニ關スル事務ヲ管掌シ竝ニ別ニ定メタル地域内ニ於ケル蒙古旗務ニ關シ國務總理ヲ輔佐ス

第二條 興安局ニ左ノ職員ヲ置ク

- 總長 (特任)
- 次長 (簡任)
- 參與官 (簡任若ハ薦任)
- 祕書官 (薦任)

理事官 (簡任若ハ薦任)

技正 (簡任若ハ薦任)

事務官 (薦任)

屬官 (委任)

第三條 總長ハ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ局務ヲ總理シ興安各分省長ヲ指揮監督ス

第四條 總長ハ興安省内ノ行政事務ニ關シ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ局令ヲ發スルコトヲ得

第五條 總長ハ興安各分省長ノ命令若ハ處分ニ對シ制規ニ違反シ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ越エタルモノト認メタルトキハ之ヲ取消又ハ停止ヲ命スルコトヲ得

第六條 總長ハ其ノ主管事務ニ付キ法律、教令、院令ノ制定廢止及改正ノ必要アリト認メタルトキハ案ヲ具シテ國務總理ニ提出スヘシ

第七條 總長ハ薦任官以上ノ進退及賞罰ニ付テハ國務總理ニ上申シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第八條 次長ハ總長ヲ輔佐シ常務ヲ掌理シ竝ニ總長事故アルトキハ其ノ職務ヲ行フ

第九條 參與官ハ總長ノ諮問ニ應ヘ竝ニ臨時ニ命ヲ承ケ事務ニ服ス

第十條 祕書官ハ總長ノ命ヲ承ケ機密事項及特ニ命セラレタル事項ヲ掌ル

理事官ハ總長ノ命ヲ承ケ局務ヲ分掌ス
技正ハ總長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス
第十一條 興安局ニ左ノ三處ヲ置ク

總務處

政務處

勸業處

第十二條 總務處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 機密ニ屬スル事項
- 二 官印ノ保管及文書ニ關スル事項
- 三 人事ニ關スル事項
- 四 會計及庶務ニ關スル事項
- 第十三條 政務處ニ於テ左ノ事項ヲ管掌ス

一 地方行政ニ關スル事項

二 自治行政ニ關スル事項

三 警察及地方自衛ニ關スル事項

四 宗教ニ關スル事項

五 教育ニ關スル事項

第十四條 勸業處ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

一 牧畜ニ關スル事項

二 農林ニ關スル事項

三 鑛業ニ關スル事項

四 商工業ニ關スル事項

第十五條 各處ニ處長ヲ處キ理事官若クハ技正ヲ以テ之ニ充ツ、各處ノ事務分掌ハ總長之ヲ定ム

第十六條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

興安分省公署官制

第一條 興安省ヲ分チテ興安南分省、興安東分省及興安北分省ノ三分省トス分省ニ分省公署ヲ置

第二條 分省公署ニ左ノ職員ヲ置ク

分省長 (簡任)

祕書官 (薦任)

理事官 (簡任若ハ薦任)

技正 (簡任若ハ薦任)

事務官 (薦任)

視學 (薦任)

屬官 (委任)

第三條 分省長ハ興安局總長ノ指揮監督ヲ承ケ法令ヲ執行シ分省内ノ行政事務ヲ管理シ並ニ所屬官吏ヲ指揮監督ス

分省長ハ薦任以上ノ進退及賞罰ニ關シテハ興安局總長ヲ經テ國務總理ニ上申シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第四條 分省長ハ分省内ノ行政事務ニ關シ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ省令ヲ發布スルコトヲ得

第五條 分省長ハ職權或ハ特別ノ委任ニ依リ旗長ヲ指揮監督ス

分省長ハ旗長ノ命令又ハ處分ニシテ成規ニ違反シ公益ヲ妨害シ或ハ越權ト認ムルトキハ其ノ命令、又ハ處分ノ取消若ハ停止スルコトヲ得

第六條 分省長ハ安寧秩序ヲ保持センカ爲兵力ヲ要スルトキハ興安局總長ヲ經テ國務總理ニ上申スヘシ但シ非常急變ノ情形アルトキハ地方駐在軍隊司令官ニ對シ出兵ヲ要求スルコトヲ得

第七條 祕書官ハ分省長ノ命ヲ承ケ機密ノ事項及特ニ命セラレタル事務ヲ掌ル

理事官ハ分省長ノ命ヲ承ケ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ事務ヲ分掌ス

技正ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ノ視察及其ノ他教育ニ關スル事務ニ從事ス

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條 分省公署ニ左ノ二廳ヲ置ク

總務廳

民政廳

第九條 總務廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 機密ニ屬スル事項
 - 二 人事ニ關スル事項
 - 三 文書ニ關スル事項
 - 四 官印ノ保管ニ關スル事項
 - 五 會計ニ關スル事項
 - 六 調査ニ關スル事項
 - 七 官有財産ノ管理ニ關スル事項
 - 八 他廳ニ屬セサル事項
- 第十條 民政廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 自治行政ノ監督ニ關スル事項
 - 二 土木ニ關スル事項

- 三 交通ニ關スル事項
 - 四 官營事業ノ管理ニ關スル事項
 - 五 警察及地方自衛ニ關スル事項
 - 六 保健及衛生ニ關スル事項
 - 七 勸業ニ關スル事項
 - 八 文教ニ關スル事項
- 第十一條 廳ニ廳長ヲ置キ理事官ヲ以テ之ニ充ツ
- 第十二條 民政廳長ハ警察事務ノ執行ニ關シテハ分省長ノ命ヲ承ケ分省内ノ警察官吏ヲ指揮監督ス
- 第十三條 各廳ノ事務分掌規程ハ分省長之ヲ定ム
- 第十四條 本官制ハ大同元年四月五日ヨリ施行ス
- 一〇、省公署官制
- 第一條 省（興安省ヲ除ク）ニ省公署ヲ置ク
- 第二條 省公署ニ左ノ職員ヲ置ク
- 省長（特任）

理事官 (簡任若ハ薦任)

秘書官 (薦任)

技 正 (簡任若ハ薦任)

事務官 (薦任)

視 學 (薦任)

屬 官 (委任)

第三條 省長ハ國務總理及各部總長ノ指揮監督ヲ承ケ法令ヲ執行シ省内ノ行政事務ヲ管理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シテハ國務總理ニ上申シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第四條 省長ハ省内行政事務ニ關シ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ省令ヲ發スルコトヲ得

第五條 省長ハ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ縣長ヲ指揮監督ス

省長ハ縣長ノ命令又ハ處分ニシテ制規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ命令又ハ處分ヲ取消シ若ハ停止スルコトヲ得

第六條 省長ハ安寧秩序ヲ保持スル爲兵力ヲ要スルトキハ國務總理ニ呈請スヘシ、但シ非常急變ノ場合ハ地方駐在軍隊ノ司令官ニ對シ出兵ヲ要求スルコトヲ得

第七條 理事官ハ省長ノ命ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

技正ハ省長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ノ視察及其ノ他教育ニ關スル事務ニ從事ス

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條 省公署ニ左ノ各廳ヲ置ク

一 總務廳

二 民政廳

三 警務廳

四 實業廳

五 教育廳

第九條 總務廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

一 機密ニ屬スル事項

二 人事ニ關スル事項

- 三 文書及統計ニ關スル事項
- 四 官印ノ保管ニ關スル事項
- 五 會計ニ關スル事項
- 六 他廳ニ屬セサル事項

第十條 民政廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 自治行政ノ監督ニ關スル事項
 - 二 土木ニ關スル事項
 - 三 賑災及救恤ニ關スル事項
 - 四 官有財産ノ管理ニ關スル事項
 - 五 土地ニ關スル事項
 - 六 其ノ他他廳ノ所管ニ屬セサル一般行政事項
- 第十一條 警務廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 警察ニ關スル事項
 - 二 衛生ニ關スル事項

三 禁煙ニ關スル事項

四 爭議ノ調停ニ關スル事項

第十二條 實業廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 農、工、商、森林、礦山及水産ニ關スル事項
- 二 官營事業ノ管理ニ關スル事項
- 三 荒地、開墾及殖民ニ關スル事項
- 四 農田及水利ノ整治ニ關スル事項
- 五 度量衡ニ關スル事項

第十三條 教育廳ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 教育及學藝ニ關スル事項
 - 二 禮俗及宗教ニ關スル事項
- 第十四條 警務廳長ハ警察事務ノ執行ニ關シ省長ノ命ヲ承ケ省内ノ警察官吏ヲ指揮監督ス
- 第十五條 各廳ノ事務分掌規程ハ省長之ヲ定ム
- 第十六條 本官制ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

一、暫時省公署ニ參事官ヲ置クノ件

- 第一條 暫時省公署ニ參事官ヲ置ク但シ簡任若ハ薦任トス
- 第二條 參事官ノ定員ハ一省六名以内ト定ム但シ一名ハ簡任トナスコトヲ得
- 第三條 參事官ハ省長ノ諮問ニ應ヘ並ニ重要省務ニ參畫ス
- 第四條 本令ハ大同元年三月九日ヨリ施行ス

一、暫時從前ノ法令ヲ援用スルノ件（大同元年三月九日公布）

- 第一條 從前施行ノ法令ハ建國ノ主旨國情及法令ト抵觸セサル條項ニ限り一律ニ之ヲ援用ス
- 第二條 前條ノ規定ニ抵觸スル爲援用スヘキ法令ナキ時ハ國民政府ノ法令ニ依リ其ノ效力ヲ失ヒタル法令ト雖前條ノ規定ニ合致スル條項アルトキハ其ノ效力ヲ恢復シテ之ヲ援用ス
- 第三條 前二條ノ規定ニ依リ尙法ノ缺陷アルトキハ從來ノ慣習及慣行ニ依リ慣習又ハ慣行ナキトキハ條理ニ依ル

一三、暫行公文程式令

- 第一條 凡ソ公事ヲ處理スルノ文件ヲ名ツケテ公文ト云フ
- 第二條 公文ノ名稱左ノ如シ

一 教書 執政カ國務ニ關シ其ノ意思ヲ發表スルトキ之ヲ用フ
教書ハ執政之ニ署名捺印シ國務總理副書ス

二 執政令 執政全國ニ命令スルトキ之ヲ用フ

甲 法律ノ公布

乙 教令ノ公布

丙 軍令ノ公布

丁 國際條約ノ公布

戊 豫算及豫算外國庫負擔ノ契約ノ公布

執政令ハ總テ執政ノ署名捺印ト國務總理ノ副署ヲ除クノ外立法院ノ議決或ハ參議府ノ諮詢ヲ經タルモノナルコトヲ令文中ニ聲明スヘシ

三 院令 國務院ノ命令スルトキ之ヲ用フ院令ハ國務總理署名ス

四 局令及部令 興安局及國務院各部ノ命令スルトキ之ヲ用フ

局令ハ興安局總長署名ス

部令ハ國務院各部總長署名ス

- 五 省令 各省公署ノ命令スルトキ之ヲ用フ
- 六 任命狀 官吏ヲ任命スルトキ之ヲ用フ
- 甲 特任、簡任各官ノ任命狀ニハ執政署名捺印シ國務總理副署ス
- 乙 薦任官ノ任命狀ニハ國務總理署名捺印ス
- 丙 委任官ノ任命ハ當該官署長官カ署名捺印ス
- 七 委任令 執政カ官吏ニ對シ又ハ上級官吏カ所屬官吏ニ對シ職務ヲ委任スルトキ之ヲ用フ
- 八 勅令 執政カ官署ニ對シ又ハ上級官署カ直轄下級官署ニ對シ諭告スルトキ之ヲ用フ
- 九 指令 凡ソ上級官署カ下級官署ノ上申ニ對シテ指示スルトキ之ヲ用フ
- 一〇 佈告 人民ニ對シ事實ヲ宣示スルトキ之ヲ用フ
- 以上七、八、九、一〇各項ニシテ凡ソ執政ニ屬スルモノハ執政之ニ捺印シ國務總理副署ス各官署ニ屬スルモノハ該官署長署名捺印ス
- 一一 咨 平等ナル各官署カ公文ヲ往復スルトキ之ヲ用フ
- 一二 呈 人民カ執政若ハ各官署ニ對シ又ハ下級官署カ上級官署ニ對シ上申スルトキ之ヲ用フ
- 一三 公函 相隸屬セサル各官署カ公文ヲ往復スルトキ之ヲ用フ

- 一四 批 各官署カ人民ノ陳請事項ヲ許可又ハ却下スルトキ之ヲ用フ
- 第三條 公文ニハ年月日ヲ明記スヘシ凡ソ執政文件ニシテ國務總理副署セルモノハ國務總理之ヲ記入シ各官署ノ文件ハ各該官署長官之ヲ記入シ個人ニ屬スルモノハ本人之ヲ記入ス
- 第四條 敕令、院令、局令、部令及省令ニシテ別ニ施行期日ノ定メナキモノハ公布ノ時ヨリ起算シテ滿二十日後ニ之ヲ施行ス
- 第五條 公文ハ政府公報ニテ之ヲ公布ス
- 第二條ノ第一第二第三第四第五第十ノ各項及官吏任免事項ハ總テ政府公報ニテ之ヲ公布スルモノトス
- 第六條 公布スル法律敕令若ハ院令ハ法制局ニ於テ各正本ヲ作成シ號數冊數ヲ記入シ並ニ副本ヲ作成シ國務院總務廳ニ送り各前條ノ手續ニ照シテ之ヲ辦理ス
- 第七條 局令、部令、省令及佈告ノ發布後當該官署長官ハ之ヲ法制局ニ報告シ法制局ハ分別シテ備案スヘシ

附則

第八條 地方自治團體及其ノ他ノ官署公文程式ハ本令ニ準據シテ之ヲ辦理ス

第九條 本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス(大同元年三月九日公布)

六六

一四、貨幣法

第一條 貨幣ノ製造及發行ノ權ハ政府ニ屬シ滿洲中央銀行ヲシテ之ヲ行ハシム

第二條 純銀ノ重量三・九「グラム」ヲ以テ價格ノ單位トシ之ヲ圓ト稱ス

第三條 貨幣ノ計算ハ十進ヲ以テシ一圓ノ十分ノ一ヲ角ト稱シ百分ノ一ヲ分ト稱シ千分ノ一ヲ厘ト稱ス

第四條 貨幣ノ種類ハ左ノ九種トス

紙幣 百圓 十圓 五圓 一圓 五角

白銅貨幣 一角 五分

青銅貨幣 一分 五厘

第五條 紙幣ハ其ノ額ニ制限ナク法貨トシテ通用ス鑄貨ハ其ノ額面ノ百倍迄法貨トシテ通用ス

第六條 鑄貨ノ品位量目ハ左ノ如シ

一、一角白銅貨幣 總量三「グラム」(「ニッケル」二五銅七五ノ割合)

二、五分白銅貨幣 總量二「グラム」(「ニッケル」二五銅七五ノ割合)

三、一分青銅貨幣 總量三・五「グラム」(銅九五錫四亞鉛一ノ割合)

四、五厘青銅貨幣 總量二・五「グラム」(銅九五錫四亞鉛一ノ割合)

第七條 貨幣ノ樣式並ニ製造發行損幣引換及消却ニ關シテハ敕令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 著シク汚染磨損又ハ毀損セル貨幣ハ其ノ額面價格ヲ以テ無手数料ニテ滿洲中央銀行ニ於テコレヲ引換ユ

第九條 鑄貨ニシテ模樣ノ認識シ難キモノ又ハ私ニ刻印ヲ爲シ其ノ他故意ニ毀損セリト認ムルモノハ貨幣タルノ效力ナキモノトス

第十條 滿洲中央銀行ハ紙幣發行高ニ對シ三割以上ニ相當スル銀塊、金塊、確實ナル外國通貨又ハ外國銀行ニ對スル金銀預金ヲ保有スルコトヲ要ス

第十一條 前條ニ掲ケタル準備額ヲ控除セル殘餘ノ發行高ニ對シテハ、公債證書、政府ノ發行又ハ保證セル手形其ノ他確實ナル證券若ハ商業手形ヲ保有スルコトヲ要ス

第十二條 滿洲中央銀行ハ紙幣及鑄貨ノ發行額並ニ準備ノ増減ニ關スル出納日表及每週平均額表ヲ作成シテ政府ニ進達シ且每週ノ平均額ハ之ヲ公告スヘシ

第十三條 政府ハ滿洲中央銀行ノ監理官ヲシテ特ニ貨幣ノ製造及發行ヲ監督セシム

六七

監理官ハ何時タリトモ貨幣ノ發行額、未發行高及帳簿ヲ検査スルコトヲ得
第十四條 從來流通ノ鑄貨及紙幣ニ關シテハ舊貨幣整理辦法ノ定ムル所ニ依ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大同元年六月十一日公布)

一五、陸海軍軍備令

- 第一條 陸海軍ハ國內ノ治安並ニ邊境及江海ノ警備ニ任ス
第二條 陸海軍ハ執政ノ統率ニ歸ス
第三條 執政ハ警備司令官擔任ノ區域ヲ劃定シ、所要ノ軍隊ヲ指揮シテ當該區域ノ治安ニ任セシム
第四條 執政ハ艦隊司令官擔任ノ水域ヲ劃定シ所要ノ艦隊ヲ指揮シテ當該水域ノ警備ニ任セシム
第五條 警備司令官ハ陸軍上中將ヲ以テ之ニ充テ執政ニ直隸ス
第六條 艦隊司令官ハ海軍將官ヲ以テ之ニ充テ執政ニ直隸ス
第七條 警備司令官ノ責任ハ擔任區域内ニ於テ隨時情形ヲ探查シ不逞ヲ掃除シ域内ノ安全ヲ保持スルニ在リ

スルニ在リ

第八條 警備司令官ハ隣接警備司令官ノ請求アリタルトキハ所要ノ兵力ヲ派遣スルコトヲ得、若シ事態急迫シ其ノ請求ヲ待ツヲ得サルトキハ自ら責任ヲ以テ所要ノ兵力ヲ派遣スルコトヲ得

但シ前項ノ場合ニハ速ニ軍政部總長ニ報告シ並ニ隣接警備司令官ニ通報スルヲ要ス

第九條 警備司令官ハ治安維持ノ爲兵力ヲ使用スルトキハ其ノ場合ニ限り當該地方ノ縣警察隊ヲ指揮スルコトヲ得

第十條 艦隊司令官ノ責任ハ隨時其ノ擔任水域ヲ巡邏シ並ニ其ノ水域ヲ警備シ漁業船ヲ保護シ及密漁密賣ヲ監察スルノ任務ヲ負フニ在リ

第十一條 警備司令官及艦隊司令官ハ軍政及用兵ニ關シ軍政部ノ總長ノ區處ヲ受ク

一六、滿洲國國旗

大同元年三月一日發布セラレタル滿洲國國旗ニ關スル佈告左ノ如シ
滿洲國國旗ハ五色旗トナシ地ハ黃色ヲ用フ、旗ノ左上角ニ紅藍白黒ノ四色ヲ用ヒ全旗四分ノ一ヲ占ム、茲ニ佈ス